

# ふかきちのまじ

第六十六号 九九年八月一日  
発行所 深町町内会連合会  
連絡所 六三三三八七

昭和二十四年にPTAが発足し、今年で五十年が経過し、その間に十八人の方にお世話をしていただきました。初代、松本久吉様、以下村上二三様(二回)成末豊様、梶谷藤郎様の四方は故人となられました。歴代会長に当時の「思い出」を綴っていただいたらたの発案があり、初回は六代秋本俊之様にお願ひしました。

## PTA会長時の思い出

秋本 俊之 (四〇年、四四年)

請われるま、PTAの会長を引き受けたのは、昭和四十年より五年間の間でした。全く経験の無い素人に課せられた宿題で、暗中模索の中での就任でありました。学校は聖域であり、無限の可能性を秘めた多くの子弟の学習会であると同時に、子供達を通じての親達のコミュニケーションの場で、地域住民の研修の場であり意志の疎通、文化活動の場である事は、言をまたない所でありました。人間形成は昔の諺の通り「三つ子の魂百までも」、と子供時

## 修学旅行記

### 修学旅行の思い出

沖西 絵美

「やったーついに十三日の朝がきたぞ。」  
今日は十三日、待ちに待った修学旅行です。まずは、朝ごはんを食べて、したくをして、七時二十分までにバスでいって待つ。  
「よし、駅へいくぞ。」  
駅へ行ったら先生がいました。「おはようございます。」  
「おはようございます。」  
と、言いました。それからもう一だいな車がきて、それに上組の人と中組の人が乗っていました。みんなそろって駅の中で先生の話をききました。次に新幹線が来るのを待ちました。他の学校の人もいっぱいいました。

いよいよ新幹線に乗ります。みんな楽しそうに入りました。新幹線には二時間ちよっといました。その時間、ウノやトラン

## 修学旅行

巻幅 洋平

五月十三・十四日に修学旅行がありました。一番思い出に残ったのは、海遊館と映画村と二条城です。海遊館では、入ってすぐカワウソを見ました。岩の上にはいます。次にアザラシがけんかを

代の知識 徳育 社会性等は、教育環境に依り将来の性格が左右されると思われます。私の仕事は、当時の安川校長先生、その他の先生方の御指導を得乍ら、年度当初の入学式、入園式 卒業式 卒園式 運動会 学習発表会 各種行事の役員会等への参画でありました。又、校長先生の発案に依る岩石園造成計画でした。数人の先生方、PTAの役員の人メンバでトラックを用意し、岡山県の成羽町の化石岩の収集で、校庭



夏の終り

喜代子

がけんかをしていようでした。ジンベエザメはすごく大きかったです。ほかにもいろんな魚がいておもしろかったです。二条城では、ゆかをふむとキユッ・キユッとなっておもしろかったです。戸が金ですごかったです。

映画村では、入ってすぐ鏡形平次みたいな人に会いました。その後、日本橋をわたって後、ガラス張りスタジオに行きました。そこで何かをやっていました。おみやげを買いに行きました。そこで、未来のアイスを見つけて買いました。カップの中にビーズみたいなアイスが入っていました。カラフルできれいだったし、すごくおいしかったです。また遊びにいきたいです。



の西側のスペースを利用し岩石園の造成作業でした。又、当時は、学校生徒の減少に依る学級編成の見直しの問題が浮上して参りました。即ち今までの単式学級が生徒一・二名の減少に依り、複式学級に編成替えになるとの事で、この対策に校長先生を始め役員に依り鳩首協議を致しました。その対策として、当町出身で校区以外に居住されて居る父兄に呼びかけ、深小の校区に転居して戴く様要請して、やっと復式学級くい止めに成功した件でありました。五年間を通して感じた事は、毎年の卒業式 卒園式 入学式 入園式で挨拶に立った時、この子供達の将来に幸多かれと折と同時に、時の流れの歯車が、大きく早く回転する事に驚きを感ずる時代であった事が、深く印象に残って居ります。

見にいきました。夜は大仏旅館に泊まりました。ごはんはおいしかったです。食べたあとは八時まで買い物をしていました。いっぱい買いました。そしておふろへ入ってねました。「今日は楽しかったな」と心の中で思いました。次の日、先生

のあいさつとともにおきました。したくをして、おいしいごはんを食べて出発しました。二日目は清水寺・二条城・金閣寺・東映映画村。どこへ行っても楽しいことばかりでした。それもこれでおわり。もう一泊して帰りました。帰らないといけません。本当に残念だともいえました。でもこの二日間とても楽しかったです。

## 市民体育大会に参加を

町内会

十月十日、恒例の市民体育大会が今年も開かれます。多数の参加をお待ちしています。貸し切りバスが、下組バス停を午前七時四十分に出発します。入場門のところですよ。尚、競技種目は昨年と同じです。

▼子供会

### 小学校(幼)

- ▼遠足(幼) 一日
- ▼稲刈り 二日
- ▼集金日 七日
- ▼貯金日 八日
- ▼体重測定(低・幼) 二日
- ▼体重測定(高) 三日
- ▼芋掘り(幼) 九日
- ▼人権参観日(小・幼) 二日
- ▼誕生会(幼) 二日
- ▼玉ねぎ苗植え(幼) 二日
- ▼陸上記録会 二日

### 子ども会

- ▼市子連球技大会 三日
- ▼モミジ杯ソフト大会 三日
- ▼市子連創作大会 三日

### 尚寿会

- ▼秋の旅(千代田) 五日
- ▼老連運動会(和田) 一六日

### 消防団

- ▼夏季規律訓練 中旬

### 町内会連合会

- ▼市民体育大会参加 一〇日
- ▼敬老会 二四日

### 女性会

- ▼親睦会 一四日
- ▼敬老会演舞練習 一日

## 展望席

犬が人を噛んだらニュースにならないが、人が犬を噛んだらニュースになる。云い古されたニュース定義ですが、起る平凡な事、とりわけ善行はお金にならない。『時』の「人」も余程の人でない限り、反社会的な人物がその席を占めているようす。▼政・官・財でマスメディアを賑わす顔も例外ではなく、その種はお金。この報道を見る限り一億や二億ははしたない額にうつります。因に計算すれば、毎日一万円使って一億の金を使い切るのに一万日、二七年かかります。夕飯のおかずの値に頭を悩ます我々庶民からみれば、まさに天文学的数字。▼日本の空港使用料が高いのは運輸官僚の天下りコスト、と報じた新聞がありました。特殊法人の必要性と仕組み、貢献度を数字で表わしたら、どんな結果が出るでしょうか。資金調達に悩む中小零細企業、その元でリストラの影に怯える民間企業社員から提言すれば、この種「失業対策?事業」は切り捨ててほしい。▼政治は三流だが、経済は一流と言われた経済も、バブル崩壊で八十年代の社語は聞けない。金融再生に六〇兆円用意、今度は「産業競争力会議」とやらで「お金よこせ」の経団連。指導者の質が問われます。

# 深の歴史余話(十七)

高崎 壽郎

## 学校の移り変わり (1)

高崎 壽郎

明治新政府が「必ず邑(むら)に不学の戸なく、家に不学の人無からしめん事を期す」と学制を公布し、それに基づく近代的教育制度を創始したのは、明治五年(一八七二)であった。

これをうけて、深村では翌年三月、上組金剛寺に番盛舎を設置し、子ども達の教育に当たった。初めは寺子屋的な学校だったと想像できる。

## 広島縣御調郡第四二小学區公立深小学校

は、現在残っている校名札で、成末豊氏が寄贈されたもの。

以前、ある古老から「読み、書き、ソロバンがほとんど毎日

一、小町裕貴  
三年連続甲子園の土を踏むことができて、監督、コーチ保護者の方々、そして如水館高等学校を応援して下さいました。皆さんの心から感謝しております。この感謝の気持ちを忘れず、これからも続く野球人生を頑張ります。

## 二、徳田 乾

高校生活最後の大会で最高の思い出ができました。如水館高等学校のみんななど、応援して下さいました。感謝しております。ありがとうございます。

## 三、大本浩之

貴重な経験でした。この夏に得たものを大切にして、これからも頑張ります。

## 四、竹玄圭吾



梶谷 マサヨ

想えば 鎌と鎌との農作業

若き日なれど などかいとしき

行く夏を 惜しむが如き 蝉の声

命短かし 一生なりき

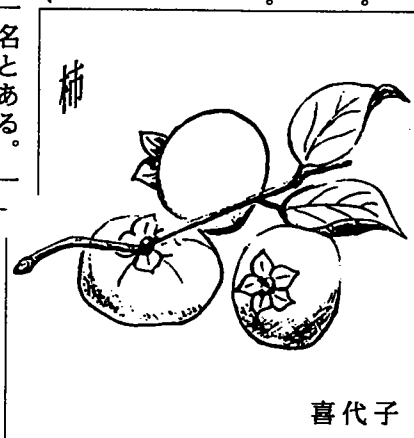
一人居を 託つこととて なければども

弥陀と共に 勇気づけ居り

下組の子どもは、中世の山陽道の稚子峠を越えて通学していたが、これが案外近道だった。

明治一九年(一八八六)の学校令が出るまでの修業年数は、三年から四年で、それも義務的なものではなかった。児童は男子が多く、「女子には学問はいらぬ」と言っていて、通学させてもらえない子もいた。又、家庭の都合でやめることもしばしばあった。

次いで、明治二十年(一八八七)三月、現深町民会館の東側に校舎を新築移転した。これが三番目の学校で、ここに約二十年余いた。明治二十一年(一八八八)から記録が残っているが、それによると、明治三十一年(一九〇六)には、児童数九十九人、学級数一、教員一名とある。一人の先生が百人前後の児童の指導をしていたことになるが、どんな授業風景だったのだろうか。



喜代子

これは世界のどの国にも例がないほどの高率であった。

九、岸 昭仁  
最後の夏、甲子園で勝つために今までやってきた。しかし、勝つことはできなかった。がみんな来れたことが大きな財産となった。

## 十、西山信敬

あの大舞台「甲子園」で、チームみんな野球ができたことが、今からの自分の財産になると思う。応援していただいた皆さんに本当に感謝しています。

## 十一、川本順一



## 甲子園に出場して

自分の目標だった甲子園に行けたことでそれは達成できた。あとは、春夏連覇を目標において頑張りていきたい。

## 十二、龜本恵太

晴れの舞台に立つことができ、とても感動した。

## 十三、山本圭介

最高の場所で野球ができ、本当に幸せでした。一生の宝物にしたいです。

## 十四、神 健司

甲子園は、本当に大きな場所でした。たくさんの良い経験をし、感動もしました。次は新しいチームで新しい歴史をつくりたい。

## 十五、弘中克信

三年間仲間たちと野球ができ、とても誇りに思います。

## 修学旅行の思い出

藤川美香

私が修学旅行で一番心に残った所は、映画村です。映画村はきょうりゅうもいるし、日本橋もあるし、いろんな体験ができました。日本橋はテレビの時代がきよく見えます。だから日本橋をわたると、なんだかわくわくしました。きょうりゅうが出る池みたいなのもありました。きょうりゅうは、しずんでいてなかなか出てきません。でてきた時は、十秒か十五秒くらいしてからしずんでいきます。その時をねらってきょうりゅうをいっしょに写真を撮るともらいました。私は、そうゆう映画村が好きです。

次に心に残ったのは海遊館です。海遊館には、ものすごく大きいジンベエザメがいました。まるで、海のダンブプカーみたいに大きかったです。見て回る子ザメもいました。見て回る時は、ぐるぐる回りながら出口まで行きました。小さな魚もいました。まだ小さい魚もいるし、土の中にいる魚もいました。土の中にいる魚が突然すっくと出てきたのでびっくりしました。その魚は土から出て、泳いでいました。魚の数は数えきれないくらいいたかったです。また、魚が見てみたいですよ。

## 消火大会で七位

消防団 正徳

九月十日、県下全域から選ばれた十六チームが広島市に集まり、消火競技大会が開かれました。三原市からは、深消防団が選ばれ出場しました。審査結果は七位で惜しくも入賞は逃しましたが、三原では歴代トップの成績でした。



後輩たちには、もっと新しい如水館高等学校の歴史をつくらせてほしいです。

## 十六、川崎一宣

三年連続という歴史はつくられたが、甲子園での歴史はつ作れなかった。後輩たちには、甲子園で新しい歴史がつくれるように頑張りてほしい。

## マナー 岡野正太郎

最高の仲間、指導者、関係者、支えて下さった全ての人々に本当に感謝しています。この経験は一生忘れません。後輩たちにも最高の思い出を残してほしい。